

1 透析患者の麻疹抗体についての考察

柏原クリニック 横石理枝 浅野茂子 石川いく子 内山たか子
水上千賀子 川久保宏也 小松みどり 水上悦子

< 目的 >

本年4月から6月にかけて成人麻疹による大学の休校・学級閉鎖のニュースが流れ、麻疹予防接種希望者が以外に多くあった。その際行った麻疹I g G抗体検査結果から透析患者の免疫状態について考えたので報告する。

< 方法 >

1. 麻疹の既往があるか・麻疹予防接種をしたことがあるか聞き取り調査をした
2. 麻疹抗体検査について説明し、希望者のみ麻疹I g G抗体検査を実施した

< 結果 >

図1は、当院の透析患者の年齢・性別・透析年数・抗体価・原疾患と麻疹罹患の記憶・麻疹ワクチン接種の有無について聞き取り調査した結果をまとめた一覧表である。(抗体価の高い順に並べてある)当院の透析患者48名中、検査実施者は、男性24名・女性6名の30名で、全透析患者の62.5%で、平均年齢は61.2歳。

原疾患別に抗体価をみると、症例3と19は、急速進行性糸球体腎炎で、106E I A価(以下単位は省略)と38.5。多発性のう胞腎は78.4・74.8・13.3。糖尿病性腎症は、63.2・62.6・48.3・35.6・9.2などとなっており、原疾患による抗体価の違いは認めなかった。また、性別による大差も認めなかった。当院の透析患者で検査を行った30名中、麻疹罹患の記憶がある人は10名となっているが、なしと答えた人も昔は皆やったから自分もやっているはず…と殆どが答えており、鮮明に罹患を記憶している人は、検査を希望しなかった。

麻疹ワクチンを接種していた人は、35歳・女性の1名だけで、抗体価は36.8。全体の抗体価は、

6.9から124.5と差が大きく、全員が、4以上の陽性だった。

図2は、透析年数による抗体価の違いをみたグラフである。ばらつきがあり、透析年数と抗体価における相関関係はないようである。

図3は、年齢による抗体価の違いについてみたグラフである。年齢が高い程抗体価が低いとは言えず、ばらつきがあった。麻疹ワクチン接種の適応として推奨されている抗体価8以上の人が96.7%を占め、また、ワクチン接種ではなく自然感染により獲得した免疫であると考えられる。

図1の症例1と30では、透析歴29年という長期透析者であり、40代・50代の男女であるが、同じように麻疹罹患・麻疹ワクチン接種の記憶がない場合でも、抗体価は124.5と6.9というように全く違った。

< 考察 >

図4のように、透析患者は、様々な原因により免疫能の異常や低下を心配されているが、今回のデータから麻疹抗体は健常者と同様に考えて良く、それは液性免疫と細胞性免疫の違いではないかと思われる。腎不全であること・血液透析をしている事などは、白血球やリンパ球の血球成分を破壊したり、その寿命を短くするため、細胞性免疫は影響を受けやすく、I g G抗体のような液性免疫には影響しないか、少ないのではないかと考えた。

現在、透析患者は高齢化しており、幼児の必須疾患と考えられていた時代の人が多数を占めている。

幼児期にはしかの洗礼を受けた人は、終生免疫が透析者にも健在していると考えられる。

図5のように、麻疹の予防接種は、1966年から始まったが、1993年のMMR(麻疹・流行性耳下腺炎・風疹)ワクチンの副作用による一時中止という経緯もあり、未接種者や1回接種のため

抗体価の上昇が少ない人もいる。

2006年4月からMR（麻疹・風疹）ワクチンが、また、6月からMRワクチンの2回接種が法定化され、現在に至っている。

2008年4月から5年間、特例として中学1年生と高校3年生にMRワクチン接種が行われることになり、予防接種による追加免疫効果が期待される時代となりつつある。

今回の経験を通して、麻疹に限らず、感染症の予防接種による免疫時代である透析患者の予防接種状況の把握が必要であると考えられる。

<おわりに>

今回の研究をすることにより、日頃あまり考えることの少ない免疫能や白血球について考える良い機会になった。これからも患者ひとりひとりの全体像や疾患の疫学的見地なども含めて総合的に考えながら看護して行きたい。

<参考文献>

多田 富雄 : 免疫の意味論

宮津光伸 : 日本医事新報 2007年6月号

星野 直 : 検査と技術 vol.29 no.3 2001年

図1

〈透析患者：麻疹IgG抗体検査実施者一覧〉

男性24名 女性6名

平均年齢： 61.2 才

	名前	年齢	性別	透析年数	抗体価	原疾患	麻疹罹患	ワクチン接種
1	***	49	男	29	124.5	オフロゼ症候群	なし	なし
2	***	68	男	21	107.1	尿管結石	なし	なし
3	***	57	男	2	106.0	急速進行性糸球体腎炎	なし	なし
4	***	72	男	9	95.9	慢性糸球体腎炎	あり	なし
5	***	72	男	22	85.2	痛風腎	なし	なし
6	***	49	男	12	78.4	多発性のう胞腎	なし	なし
7	***	70	男	18	74.8	多発性のう胞腎	なし	なし
8	***	57	男	29	72.9	慢性糸球体腎炎	なし	なし
9	***	50	男	8	70.0	高血圧性腎炎	あり	なし
10	***	45	男	1	63.2	糖尿病性腎症	なし	なし
11	***	51	男	5	62.6	糖尿病性腎症	あり	なし
12	***	74	女	25	62.4	妊娠腎	なし	なし
13	***	63	男	6	58.0	IgA腎症	なし	なし
14	***	85	女	17	50.1	アルポート症候群	なし	なし
15	***	57	男	4	48.3	糖尿病性腎症	なし	なし
16	***	58	男	8	42.2	腎結核	なし	なし
17	***	67	男	15	39.9	慢性糸球体腎炎	あり	なし
18	***	36	男	4	39.4	IgA腎症	あり	なし
19	***	80	女	1	38.5	急速進行性糸球体腎炎	なし	なし
20	***	35	男	2	36.8	腎硬化症	なし	あり
21	***	69	男	3	35.6	糖尿病性腎症	あり	なし
22	***	57	男	4	25.9	痛風腎	あり	なし
23	***	62	女	23	25.7	妊娠腎	なし	なし
24	***	82	男	4	24.1	高血圧性腎炎	あり	なし
25	***	57	男	9	23.8	IgA腎症	なし	なし
26	***	71	女	1	20.4	高血圧性腎炎	あり	なし
27	***	78	男	2	14.6	不明	なし	なし
28	***	55	男	7	13.3	多発性のう胞腎	なし	なし
29	***	53	男	0	9.2	糖尿病性腎症	あり	なし
30	***	58	女	29	6.9	妊娠腎	なし	なし

図2

〈麻疹 I g G 抗体検査実施者の透析年数と抗体価〉

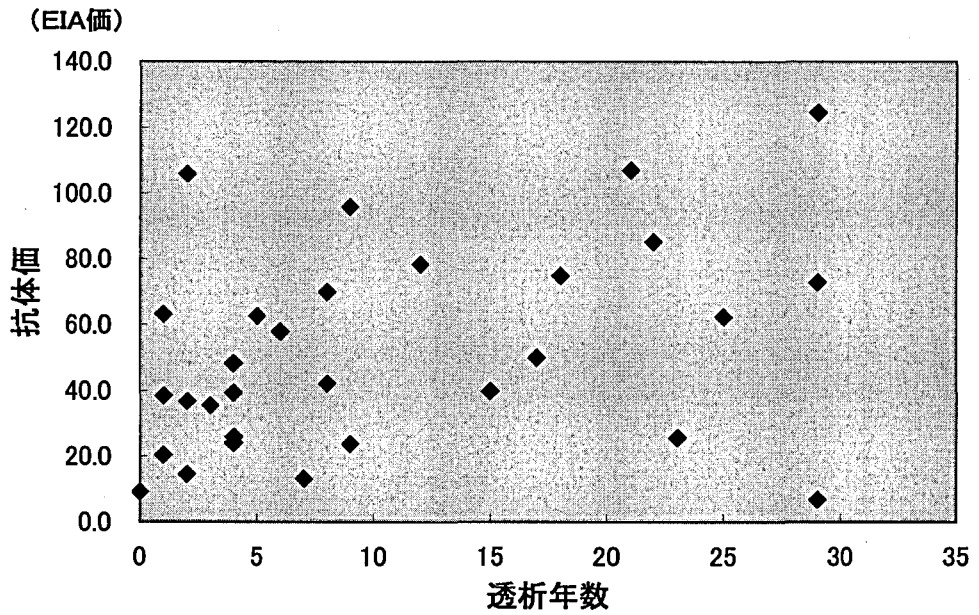


図3

〈麻疹 I g G 抗体検査実施者の年齢と抗体価〉

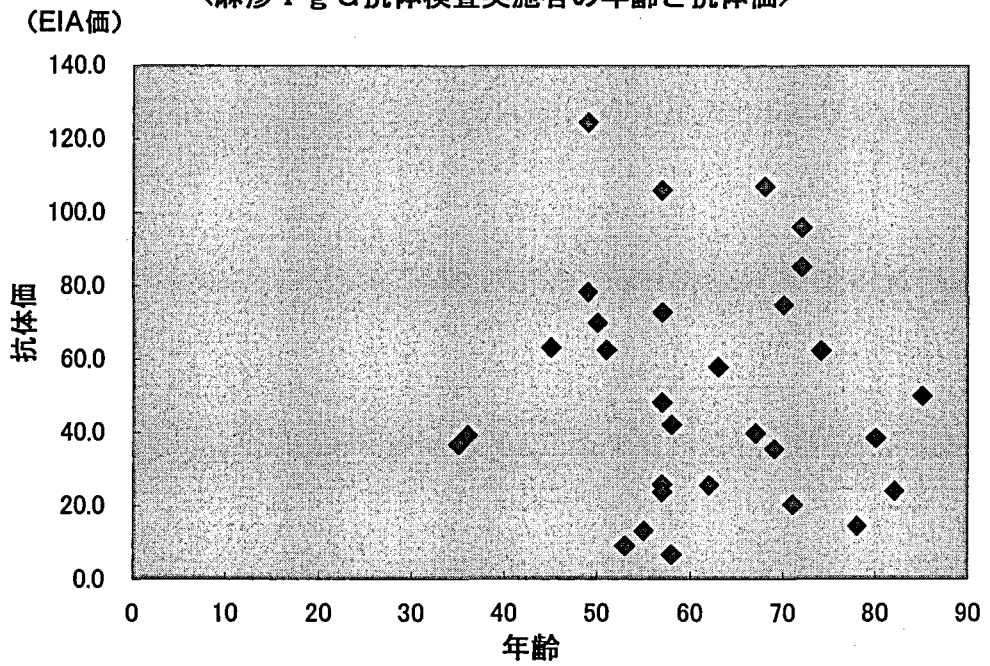


図4

〈考 察〉

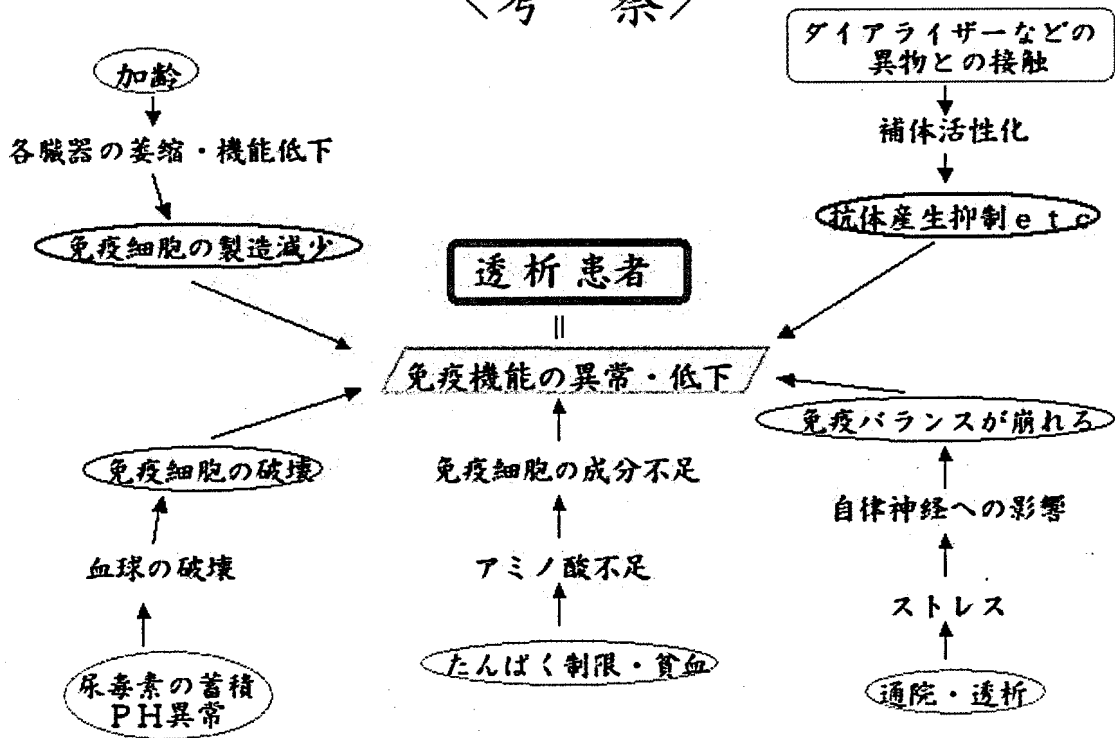


図5

〈麻疹ワクチンの変遷〉

